

2010年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

2009年8月13日



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

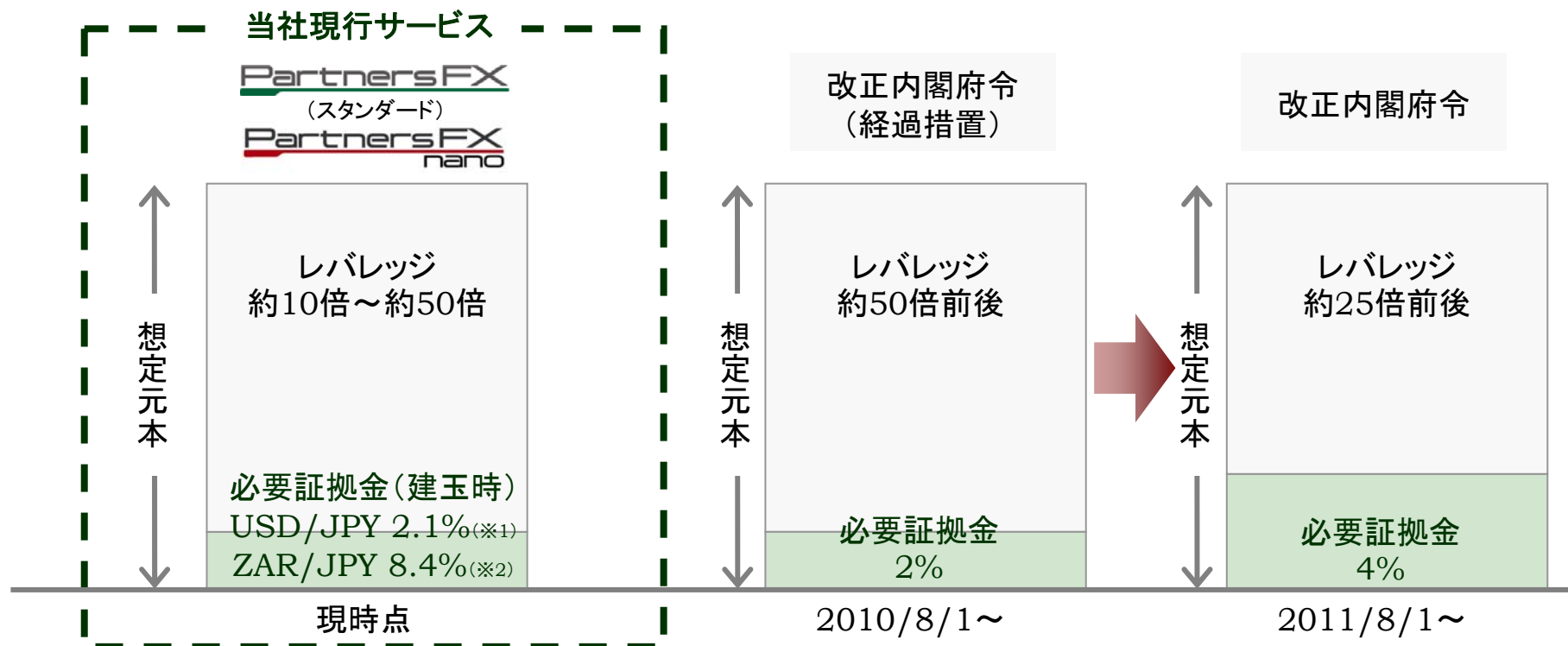
本資料における将来の展望に関する表明は、2009年8月13日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2009年8月13日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

証拠金規制に関わる改正内閣府令について

2009年7月31日に金融庁が金融商品取引業等に関する内閣府令の一部改正を公表
2010年8月1日から証拠金規制の導入を決定

改正内閣府令施行は2010年8月1日のため、2010年3月期業績への影響はなし

改正内閣府令の内容と当社サービス





証拠金規制に対する当社グループの対応について

■ 今後の当社グループへの影響

- ▶ 今回の改正は外国為替証拠金取引市場全体に影響を与えるものであり、その影響度合いは各金融商品取引業者の提供サービスの態様等に応じてまちまちのため、当社グループへの定量的な影響の算定は困難
- ▶ 当社グループにおいては、施行後の2011/3期以降も、様々な代替手段や各種施策を実施することでグループ収益基盤への悪影響を回避

■ 現行サービスの見直しについて

現行サービス

2010年8月～

PartnersFX

スタンダードコース
(レバレッジ最大50倍)

ハイレバレッジコース
(レバレッジ最大100倍)

PartnersFX
nano

スタンダードコース
(レバレッジ最大50倍)

内閣府令の改正に従い
商品性の変更を実施予定

■ 今後のサービス展開について

BtoB展開の更なる強化

新商品・サービスの開発

新規顧客の更なる開拓

- 大証FXにおけるビジネス拡大
- ホワイトラベル展開の促進
- 指数取引等FX取引以外のデリバティブ取引の取扱い
- 海外でのサービス提供
- 各種ブランディング施策の実施によるマーケティング強化
- 露出アップによる企業認知度の向上

I .2010年3月期第1四半期の決算及び事業の概況

II .2010年3月期の取組み

III .当社を取り巻く環境

IV .今後の戦略及び重点課題

V .当社の経営目標及び株主還元について

参考資料

I .2010年3月期第1四半期の決算及び事業の概況





2010年3月期第1四半期 連結決算の総括とポイント

① 口座数10万口座突破。預り証拠金も回復基調へ。

総口座数	104,065口座	2009/3期4Q比	12.2%増
預り証拠金	24,198百万円	2009/3期4Q比	7.8%増

② 外国為替顧客取引高は179,617百万通貨単位。

2009/4-6月取引高 約1,796億通貨単位 2009/1-3月比 11.2%減

③ 第1四半期(2009/4-6)の営業収益は2,509百万円、 経常利益は636百万円となった。

- ✓ 低調なボラティリティや市場要因により取引高は前四半期比で減少となった。
- ✓ 取引高の減少に加え、顧客へのサービス向上及び競争力確保のためのスプレッド縮小等により、前四半期比で減収となった。
- ✓ 取引高に連動する変動費の減少により、販管費は前四半期より減少したものの、営業収益の減少に伴い減益となった。

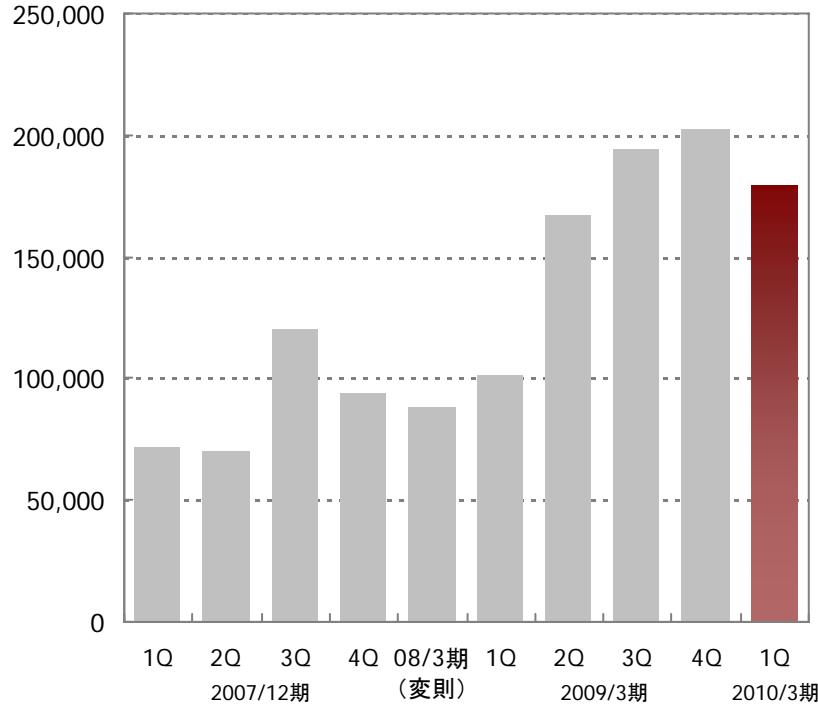


Money Partners Group

取引高と営業収益

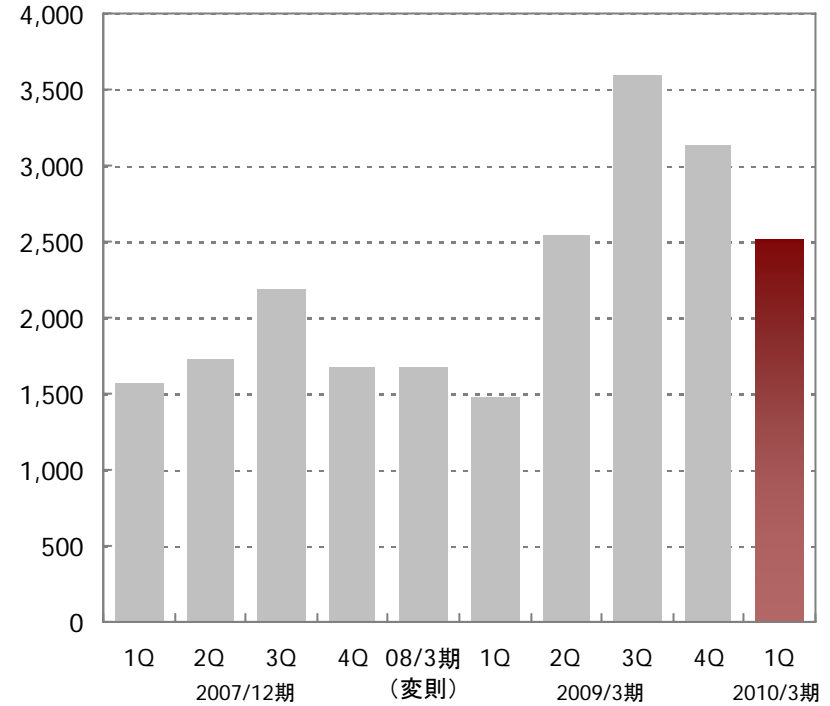
(百万通貨単位)

外国為替取引高



(百万円)

営業収益

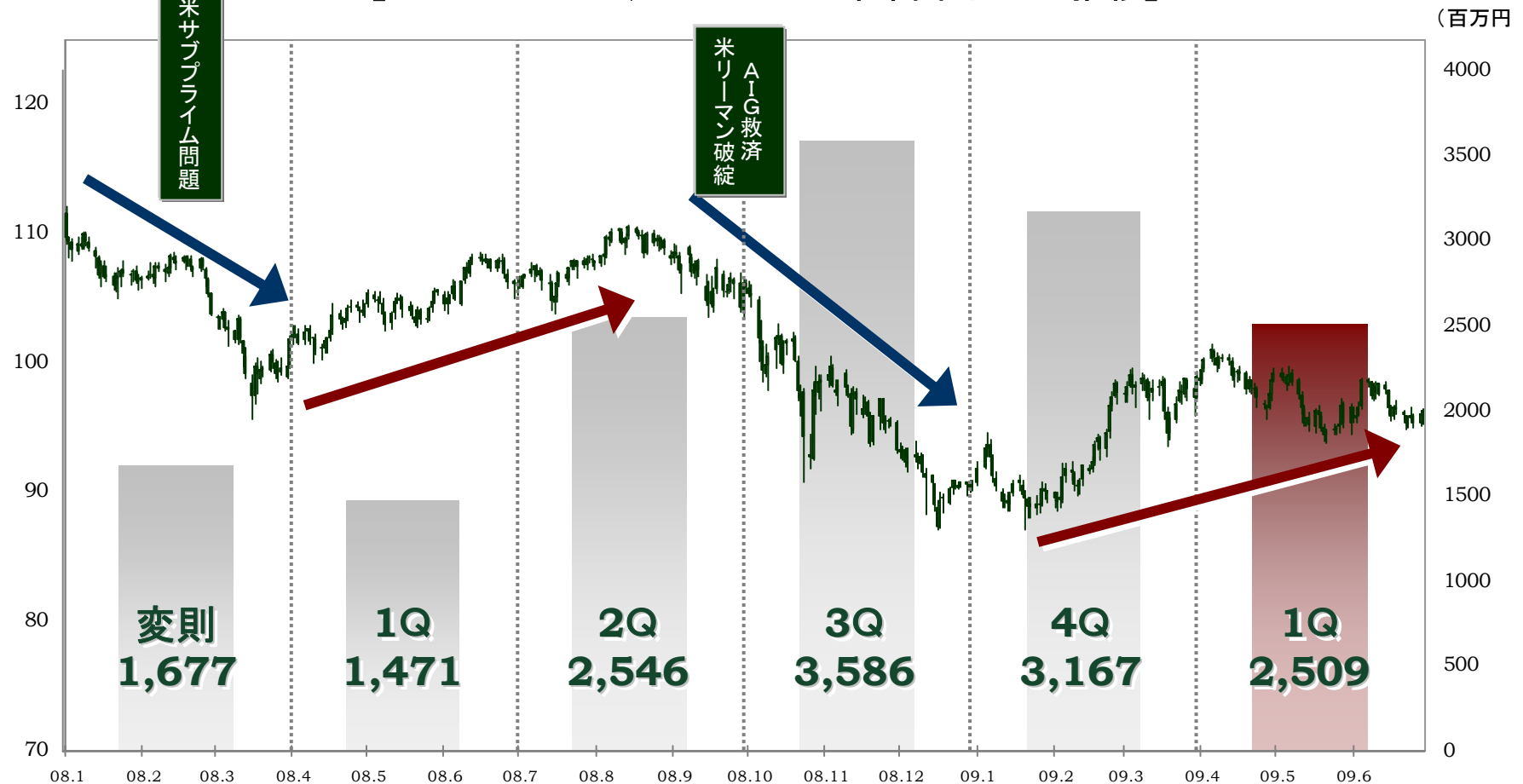


(単位＝外国為替取引高:百万通貨単位、営業収益:百万円)

	07/12期 1Q	07/12期 2Q	07/12期 3Q	07/12期 4Q	08/3期 (変則決算)	09/3期 1Q	09/3期 2Q	09/3期 3Q	09/3期 4Q	10/3期 1Q
外国為替取引高	71,828	70,229	120,069	93,972	87,605	100,897	167,047	193,834	202,379	179,617
営業収益	1,568	1,723	2,186	1,665	1,677	1,471	2,546	3,586	3,167	2,509

主として低調なボラティリティにより、前四半期比で取引高は11.2%減、営業収益は、20.8%減に

【 USD／JPY日足チャートと当社営業収益の推移】

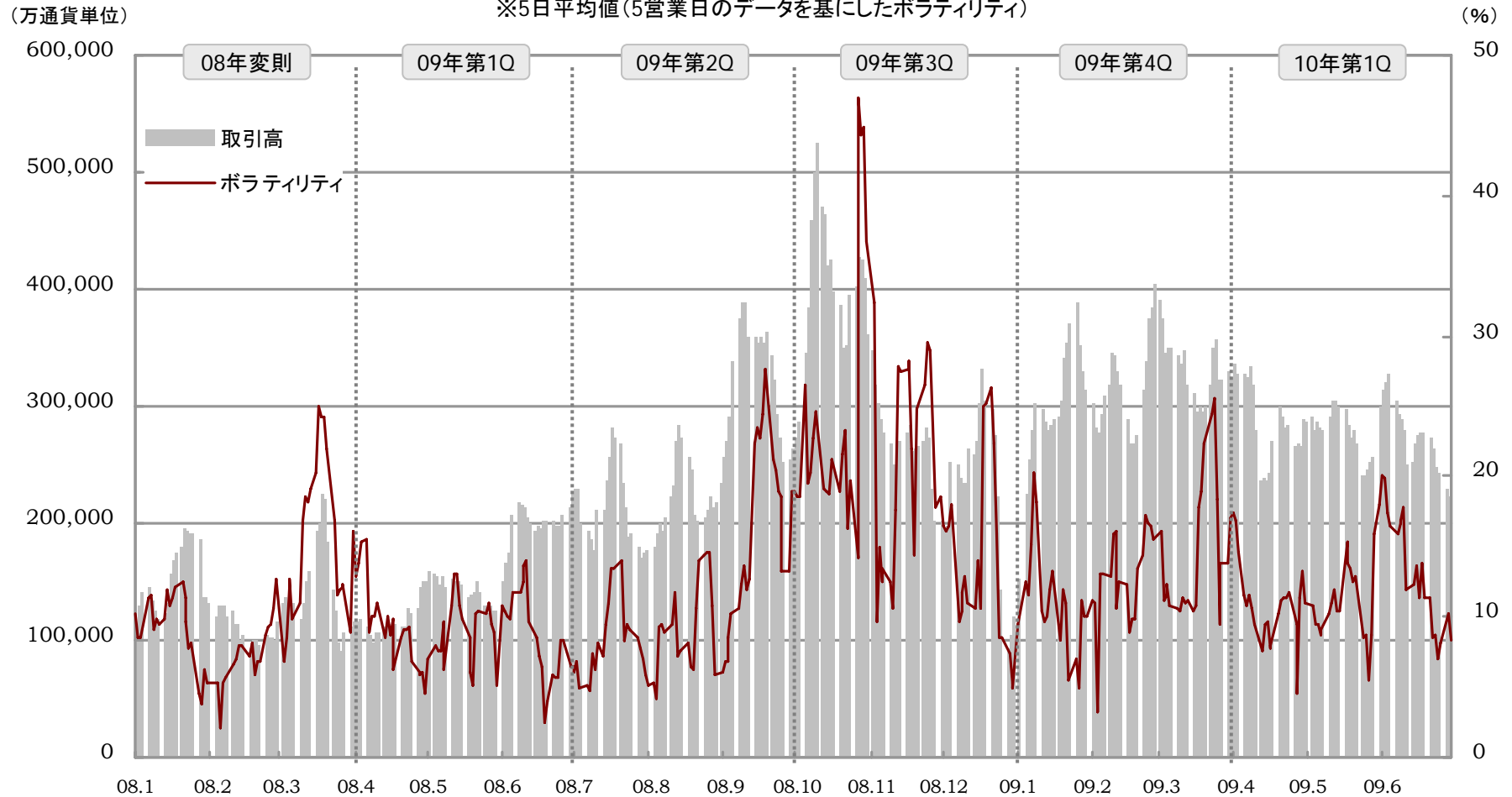


値動きの激しかった2009年3月期下半期に比べ、当第1四半期は緩やかな円安傾向で推移。
ボラティリティは低調となり、取引高・収益は値動きに影響を受けた形となった



【取引高・ドル円ボラティリティの推移】

※5日平均値(5営業日のデータを基にしたボラティリティ)



ボラティリティは、2008年10月をピークに、概ね10%~20%で推移
 当社グループ取引高は新規顧客の増加や各種営業施策等により、堅調に推移



四半期業績推移

Money Partners Group

◆四半期業績推移(※2007年12月期及び2008年3月期は、旧経理基準の財務数値を組み替えて表示しております。)

単位:百万円

	2007/12期		2008/3期	2009/3期				2010/3期	前四半期 対比増減
	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
営業収益	2,186	1,665	1,677	1,471	2,546	3,586	3,167	2,509	-20.8%
受入手数料	1	0	1	1	0	1	0	0	-6.6%
トレーディング損益	2,158	1,640	1,649	1,445	2,511	3,570	3,096	2,480	-19.9%
金融収益	26	24	27	24	30	12	7	3	-47.4%
その他の売上高	-	-	-	1	3	2	63	24	-60.9%
金融費用	0	0	0	0	0	0	0	0	-3.6%
売上原価							39	17	-55.3%
純営業収益	2,186	1,664	1,677	1,470	2,545	3,585	3,126	2,490	-20.3%
販売費・一般管理費	726	689	754	1,076	1,468	1,924	1,926	1,856	-3.7%
営業利益	1,459	976	922	393	1,076	1,661	1,200	634	-47.1%
経常利益	1,430	972	922	393	1,053	1,659	1,197	636	-46.9%
税金等調整前四半期純利益	1,430	927	922	392	1,046	1,659	1,195	636	-46.7%
四半期純利益	880	594	585	287	663	1,024	826	403	-51.2%
営業収益経常利益率	65.5%	58.4%	55.0%	26.9%	41.4%	46.3%	37.8%	25.4%	

1. 2010/3期第1Qは、低調なボラティリティや市場要因等による取引高の減少に加え、顧客へのサービス向上及び競争力確保のためのスプレッド縮小等により、対前四半期では減収減益となった
2. 販売費・一般管理費は、取引高に連動する変動費減等により、前四半期比で若干の減少となった



四半期販管費推移

Money Partners Group

◆販管費内訳の推移

単位:百万円

	2009/3期				2010/3期	前四半期 対比増減
	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	
取引関係費	346	635	1,083	1,092	976	-10.7%
人件費	216	230	263	255	225	-0.2%
不動産関係費	266	262	261	275	276	0.2%
事務費	133	209	190	171	202	18.3%
減価償却費	62	76	96	100	102	1.8%
租税公課	27	33	7	13	7	-43.1%
貸倒引当金繰入れ	1	5	0	△2	0	-
その他	22	16	21	19	35	80.6%
販売費・一般管理費合計	1,076	1,468	1,924	1,926	1,856	-3.7%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	169	187	438	292	309	6.0%
システム関連費用(※2)	281	364	334	337	368	9.2%

※1 取引関係費の一部となります。

※2 旧経理基準における電算機費に相当します。取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

1. 広告宣伝費の増加はあったものの、取引高の減少に伴うホワイトラベル提供関係費用等の変動費の減少等により、取引関係費は、前四半期比116百万円減少。
2. ブランド強化を目的としたDSソフトのプロモーション費用計上等に伴い、広告宣伝費は前半期比17百万円増加。
3. ソフトウェアにかかる保守費用の増加等に伴い、システム関連費用(電算機費)は前四半期より31百万円増加。



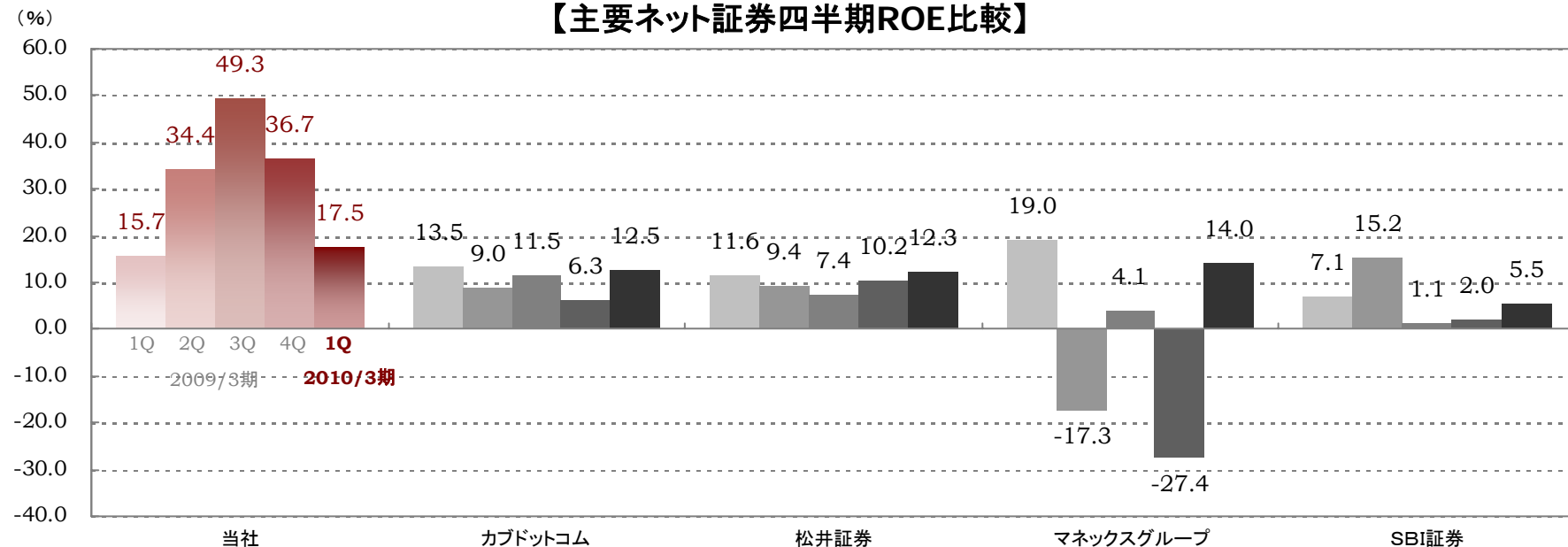
Money Partners Group

主要経営指標推移

単位:百万円

	2007/12期		2008/3期	2009/3期				2010/3期
	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	変則決算 (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)
ROE(自己資本利益率)※	56.1%	33.8%	32.1%	15.7%	34.4%	49.3%	36.7%	17.5%
[参考]自己資本	6,724	7,035	7,226	7,376	8,045	8,584	9,433	8,999
営業収益経常利益率	65.5%	58.4%	55.0%	26.9%	41.4%	46.3%	37.8%	25.4%

【主要ネット証券四半期ROE比較】

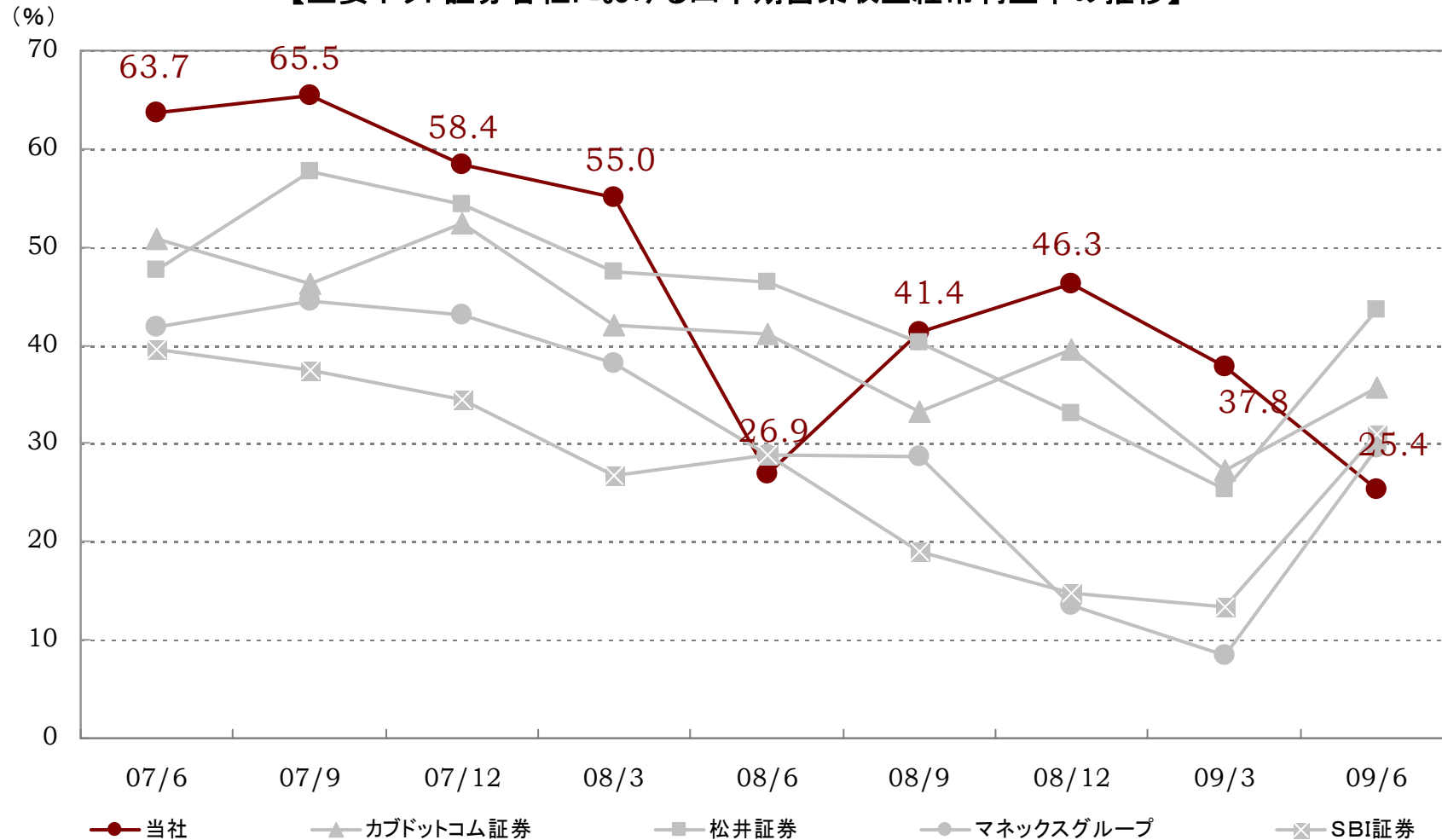


※: 四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期初自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100 なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。

ROEは、低調なボラティリティのもと営業収益の減少により低下するも、ネット証券各社比優位を維持

【主要ネット証券各社における四半期営業収益経常利益率の推移】



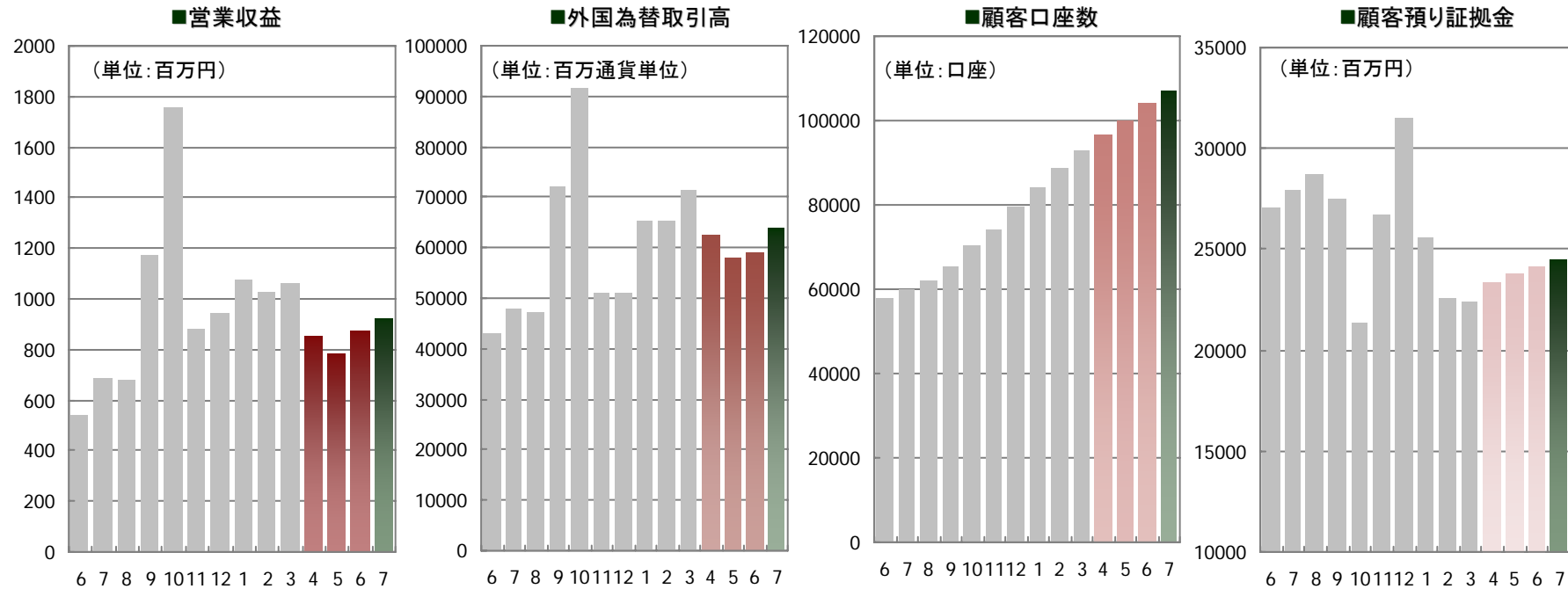


業績指標推移

Money Partners Group

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
営業収益(百万円)	544	690	682	1,173	1,756	885	945	1,073	1,029	1,024	851	782	874	923
取引高(百万通貨単位)	43,143	47,888	47,080	72,079	91,750	50,920	51,162	65,379	65,376	71,623	62,545	57,906	59,165	63,775
顧客口座数(口座)	57,858	60,183	62,190	65,463	70,603	74,337	79,569	84,100	88,675	92,763	96,660	99,811	104,065	107,250
顧客預り証拠金(百万円)	27,004	27,953	28,739	27,463	21,324	26,729	31,478	25,519	22,605	22,453	23,369	23,798	24,198	24,511

※営業収益、取引高、顧客預り証拠金につきましては、ホワイトラベル提供先の数値も含んでおります。またホワイトラベルによるトレーディング収益は当社の営業収益として全額計上した上で、当社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき手数料を販売費・一般管理費に計上する方法をとっております



顧客基盤拡大策や商品性・サービスの向上により、顧客口座数は預り証拠金は着実に拡大

Ⅱ.2010年3月期第1四半期の取組み





2010年3月期第1四半期の主な取組み

システム関連の取組み

- ◆ システム障害(4/3発生)に対する改修および確認作業の実施
- ◆ 「大証FX」参加に向けてのシステム接続準備

顧客向けサービス関連の取組み

- ◆ 代用有価証券サービスの強化と株式ネット決済化の推進
- ◆ 取引システムの継続的なバージョンアップ

顧客基盤拡大に向けての取組み

- ◆ 積極的な口座開設キャンペーンとキャッシュバックキャンペーン展開
- ◆ DSソフト『マネパ1000万人のFXトレーニング』の販売開始

BtoBビジネスに関する取組み

- ◆ 「大証FX」へのマーケットメイカーとしての参加決定



Money Partners Group

顧客向けサービス関連の取組み

◆ 代用有価証券サービスの強化と株式ネット決済化の推進

売却手数料無料の継続

- ✓ 代用適格銘柄の売却手数料無料
- ✓ 手数料無料期間を2010年3月末まで延長

お手持ちの有価証券を活用し、FX取引を始めませんか?
証券サービス実施中!
代用有価証券のみでも取引可能!

2008年5月12日より開始!

投資家応援キャンペーン > 更に期間延長!! 2010年3月31日まで!!
[期間] 2008年5月12日~~~2008年3月31日~~

代用適格銘柄は全て売却手数料 **0円** (無料)



売却注文機能の追加

- ✓ 売却数量指定可能
- ✓ 成行注文可能 (証券取引所の取引時間内における任意のタイミング)
- ✓ 指値注文可能 (後場終了後の一定時間を除く)

PartnersFX STANDARD

取引注文 取引照会 口座管理 情報

口座情報照会 クイック入金 出金依頼 / 出金取消

注文入力

銘柄	8732 マネパG
売買	売
市場	ヘラ
注文数量	1 株 (注文可能数量 / 2 株)
前日終値	52,800 円
価格	成行 成行 指値 不成
執行条件	即時
有効期限	
口座区分	一般

機能追加により、顧客の利便性を向上し、代用有価証券サービスを活用したFX取引を促進



Money Partners Group

顧客向けサービス関連の取組み

◆ 取引システムの継続的なバージョンアップ

PC
[Web]

- ▶ 取引システムのバージョンアップ
 - お客様情報更新手順の変更(メールアドレス以外の情報)
 - 「FX代用有価証券」画面のパワーアップ
- ▶ 「ASストリーミング」オートキャンセル機能の改良
 - 発注した通貨ペアに関係するリーブオーダーのみ自動キャンセルを選択可能に。

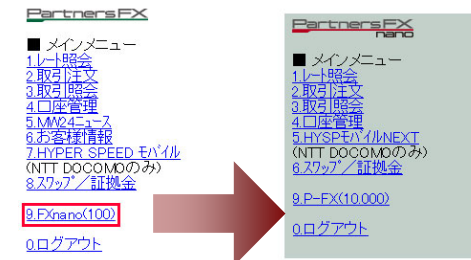
- 「お取引注意銘柄情報」へのリンク設定
- QUICK社が提供する経済情報サービス画面へのリンク設定
- 保有銘柄の平均取得価格変更機能実装
- 代用不適格の銘柄も画面に表示(売却可能)

PC
[アプリ]

- ▶ 『HYPER SPEED』の機能追加
 - 「ニュース画面」でのフィスコ閲覧機能(NW24、ロイターに加えて、フィスコを追加)
 - 各種複合注文の有効期限個別設定機能(IF-DONE、IF-OCO等の複合注文など)
 - チャートの現在値表示機能(「現在値ラベル」「現在値ライン」「テクニカル指標の現在値」の3つ)

モバイル
[Web]

- ▶ 『パートナーズFX nano』モバイル版の実装
 - PCからの取引に加え、モバイルからも「パートナーズFX nano」のレートチェック&取引が可能に。



PCとモバイルの両面で顧客取引ツールや顧客向けサービスを強化・拡充



顧客基盤拡大に向けての取組み

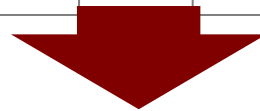
◆ 積極的な口座開設キャンペーンとキャッシュバックキャンペーンの展開

口座開設キャンペーン

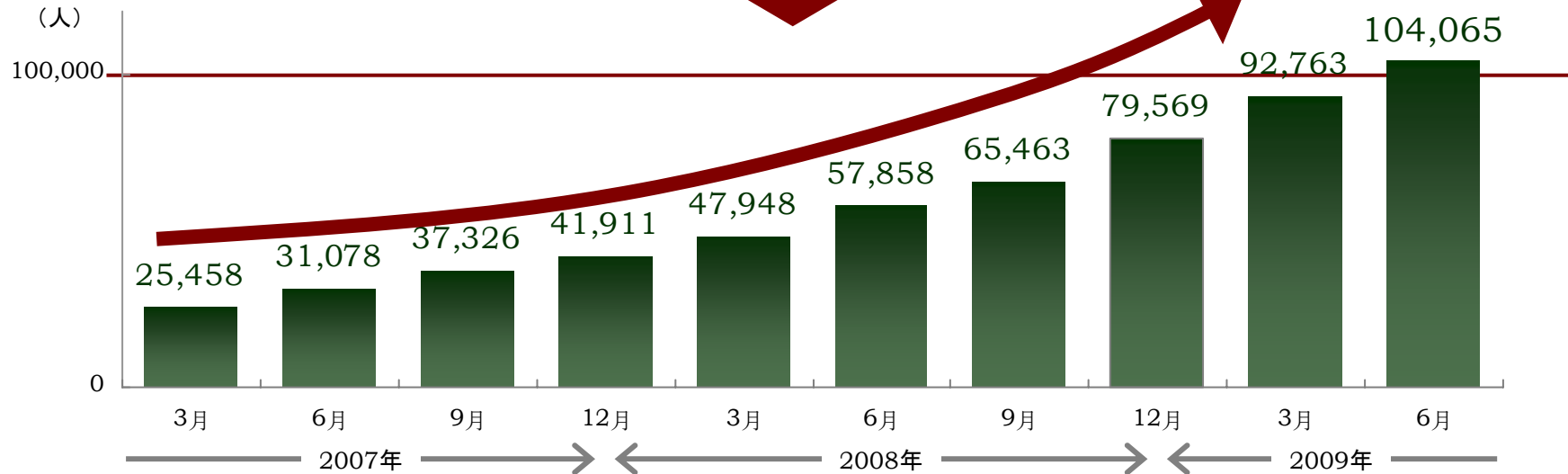
- 真夏の口座開設キャンペーン 09/7/1~09/8/31
- 新緑の口座開設キャンペーン 09/5/1~09/6/30**
- 新生活応援！口座開設キャンペーン 09/3/1~09/4/30**
- 新春口座開設キャンペーン 09/1/1~09/2/27
- 秋の口座開設キャンペーン 08/11/1~08/12/31
- 口座開設キャンペーン 08/9/1~08/10/31
- トリプルキャンペーン(口座開設) 08/7/1~08/8/29

キャッシュバックキャンペーン

- 取引高キャッシュバックキャンペーン 09/1/2~09/9/30まで**
- さらに拡大！「いつもありがとう。取引高でキャッシュバック！」
08/9/1~08/12/31
- 「いつもありがとう。取引高でキャッシュバック！」
08/8/1~08/12/31
- トリプルキャンペーン(キャッシュバック)
08/7/1~08/8/29



▶ 10万口座突破 ◀



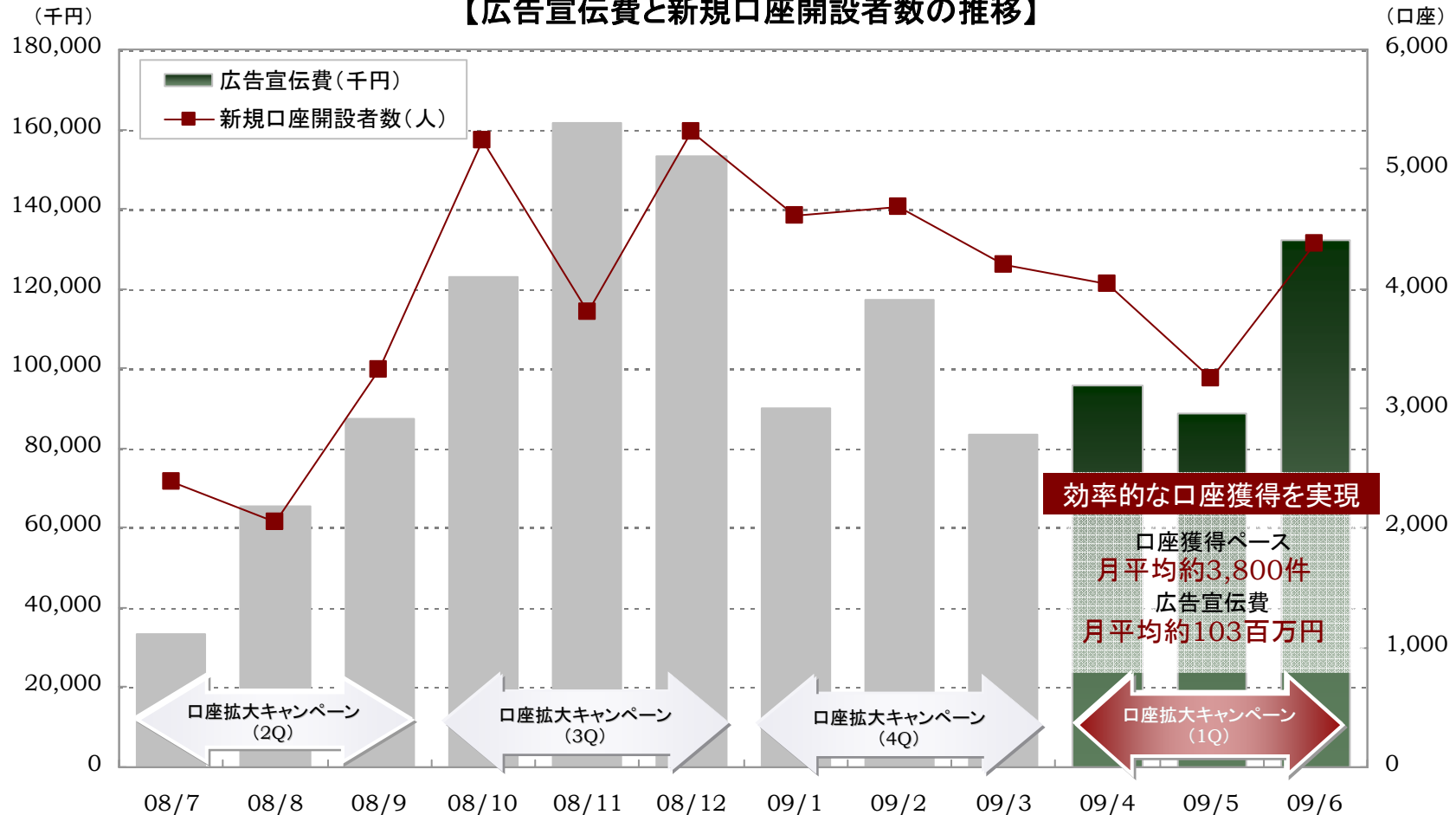
継続的なキャンペーン施策の効果により、開設口座数合計が10万口座を突破



顧客基盤拡大に向けての取組み(ご参考)

◆ 継続的なキャンペーン実施による顧客基盤の拡大

【広告宣伝費と新規口座開設者数の推移】



前年度に引き続き、効率的なキャンペーンを展開



Money Partners Group

顧客基盤拡大に向けての取組み

◆ DSソフト「マネパ1000万人のFXトレーニング」の発売と積極的なプロモーション展開

6/4 発売

NINTENDO DS

Money Partners
マネパ1000万人の
FX
トレーニング

最大で
7,000円の
キャッシュバック
キャンペーン実施!
詳しくは裏面に

マネーパートナーズ完全監修
ついに! FX攻略の決定版!
いま、話題の資産運用法「FX(外為)」を
DSでわかりやすく実践的トレーニング!

発売元
Genki
NTR-CFNJ-JPN

▶ 交通広告

東京 : 東京メトロ 東西線・丸の内線等ポスター (ステッカー広告等)
名古屋 : 名古屋地下鉄 (車両貸切)



名古屋地下鉄「車両ジャック広告」

▶ 雑誌広告

ビジネス誌、青年誌等に純広告出稿

▶ プレゼントパブリシティ

大手新聞やスポーツ新聞、青年誌等20以上の媒体に掲載

▶ その他(インターネット広告等)

交通広告や雑誌、プレゼントパブリシティ、インターネット広告等を利用したプロモーションも展開し、ビギナー層向けマーケティングを強化



Money Partners Group

BtoBビジネスに関する取組み

◆「大証FX」へのマーケットメイカーとしての参加決定

大証FXの概要

サービス開始： 2009年7月21日

取扱商品： 9金融指標

取引日： 月曜日～金曜日 ※1

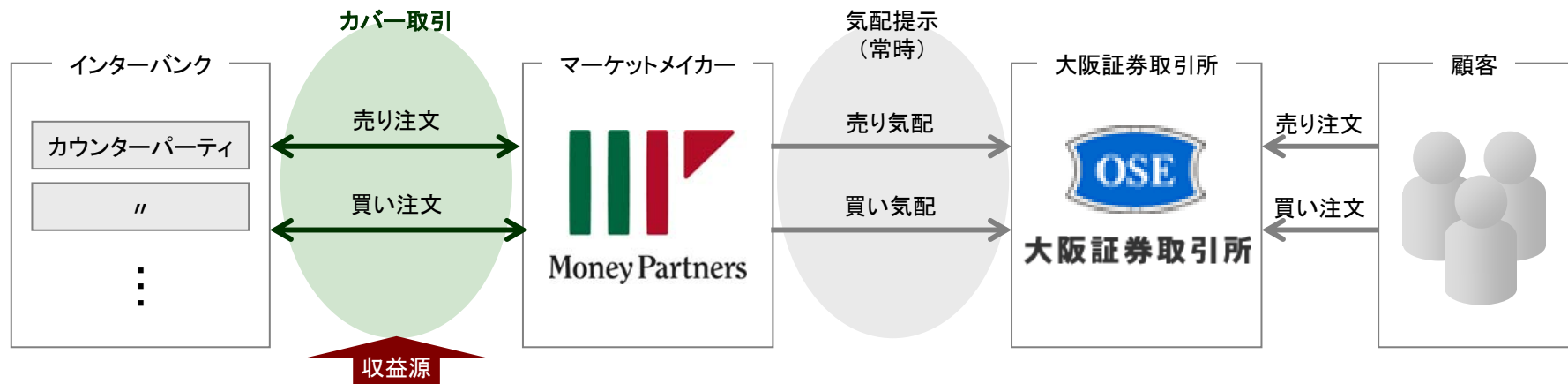
立会時間： 午前8時～翌日午前7時(サマータイム適用時は1h前倒し) ※2

取引手法： オークション方式(時間優先、価格優先の原則) + マーケットメイカー制度導入

※1: 1月1日(1月1日が日曜の場合は、1月2日)は休業日

※2: 金曜日の立会終了時間は、翌土曜日の午前6時30分(アメリカ合衆国ニューヨーク州夏時間適用時は、午前5時30分)

大証FXにおける収益モデル



相対による店頭取引に加え、取引所取引への参加で収益基盤拡大を目指す

Ⅲ.当社を取り巻く環境



金融庁の改正内閣府令に対する当社の状況

改正内閣府令が求める内容	当社への影響	対応内容
区分管理方法の 金銭信託一本化	影響なし	<ul style="list-style-type: none"> 顧客預り証拠金の完全信託を導入済み 改正府令対応のための信託契約改正準備済み
ロスカットルール整備と 遵守の義務付け	影響なし	<ul style="list-style-type: none"> 自動ロスカット制度を厳格に運用中 通常ロスカットに加え、独自ロスカットの仕組みである「アセットコントロール」を開発・運用
証拠金規制の導入	対応必要	<ul style="list-style-type: none"> スタンダードコース、ハイレバレッジコースともに見直し必要

上記の改正内閣府令の他、スリッページに対する勧誘・説明態勢や低スプレッド取引提供にあたってのリスク管理態勢に対する監督が強化されたが、当社においては影響なし

証拠金規制への対応は必要となるが、対応にあたってのハードルはなし

IV. 今後の戦略及び重点課題



ブランディングの強化・推進

地下鉄車内広告やテレビCMなどの今まで利用していなかったメディアにおいて広告を展開し、マネパブランドを訴求

代用有価証券サービスの 利便性向上

予定通り株式の売却機能の充実を実現
年度内を目処に株式買付機能のリリースを予定

カバーアルゴリズムの筋肉質化

カバー取引をより効率的かつ最良な形で実施できるように、
継続的にコンピューターアルゴリズムをチューニング

BtoBビジネスの更なる強化

大証FXにおけるマーケットメイカー参入を決定
新規ホワイトラベル展開やアライアンスも含め、より一層の
拡大を図る



Money Partners Group

ご参考:ブランディングの強化・推進

■ 当社グループ広告事例



Money Partners 安心・信頼

ゲーム

DSソフト
「マネパ1000万人のFXトレーニング」

マス広告(TV-CM)



マネーパートナーズ テレビCM

インターネット

大手ポータルサイトからの露出アップ



顧客(既存・潜在)、個人投資家

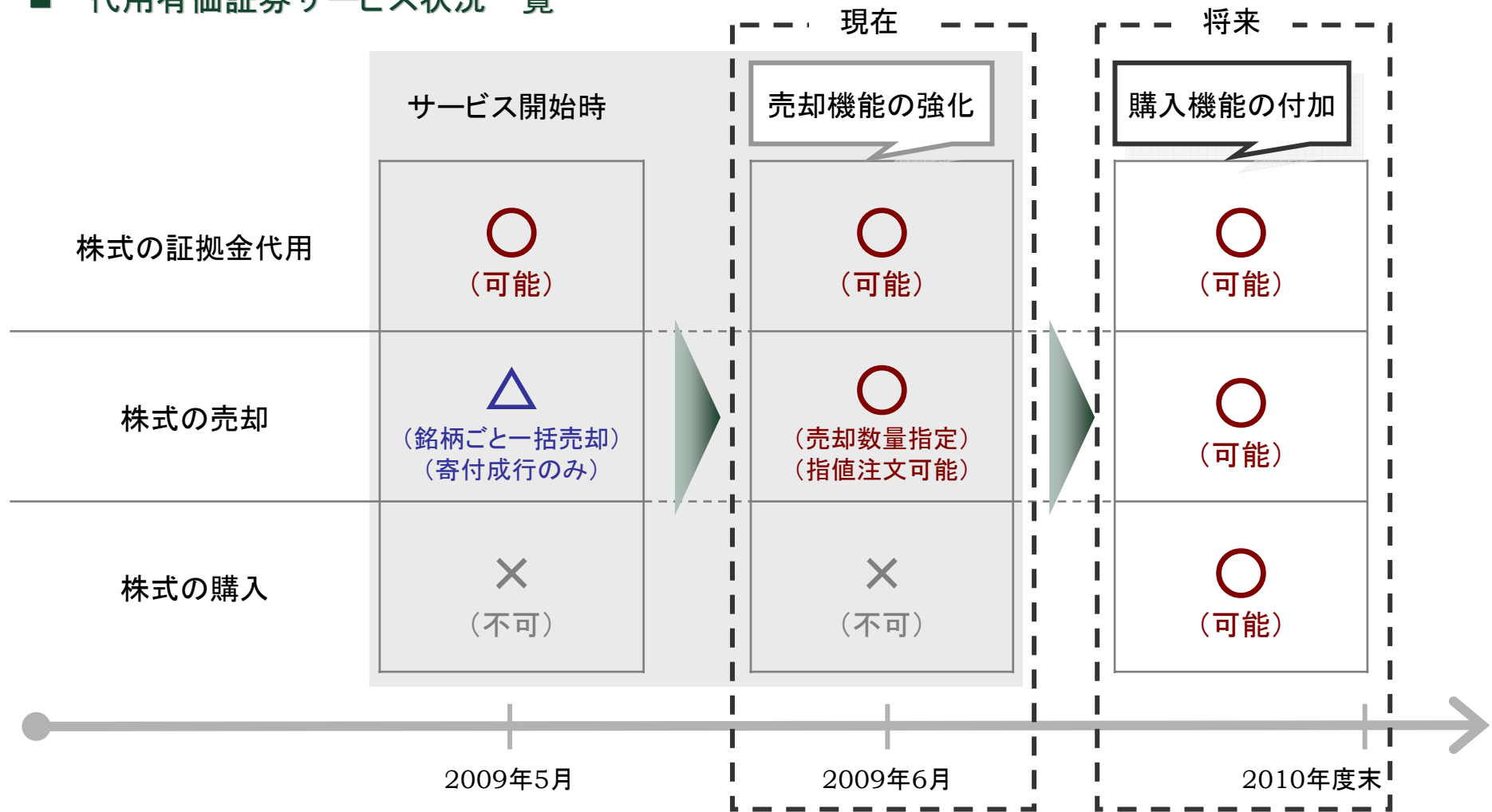
新聞、インターネット以外の媒体を利用し、今後も更なる認知度向上を図る



Money Partners Group

ご参考：代用有価証券サービスの利便性向上

■ 代用有価証券サービス状況一覧



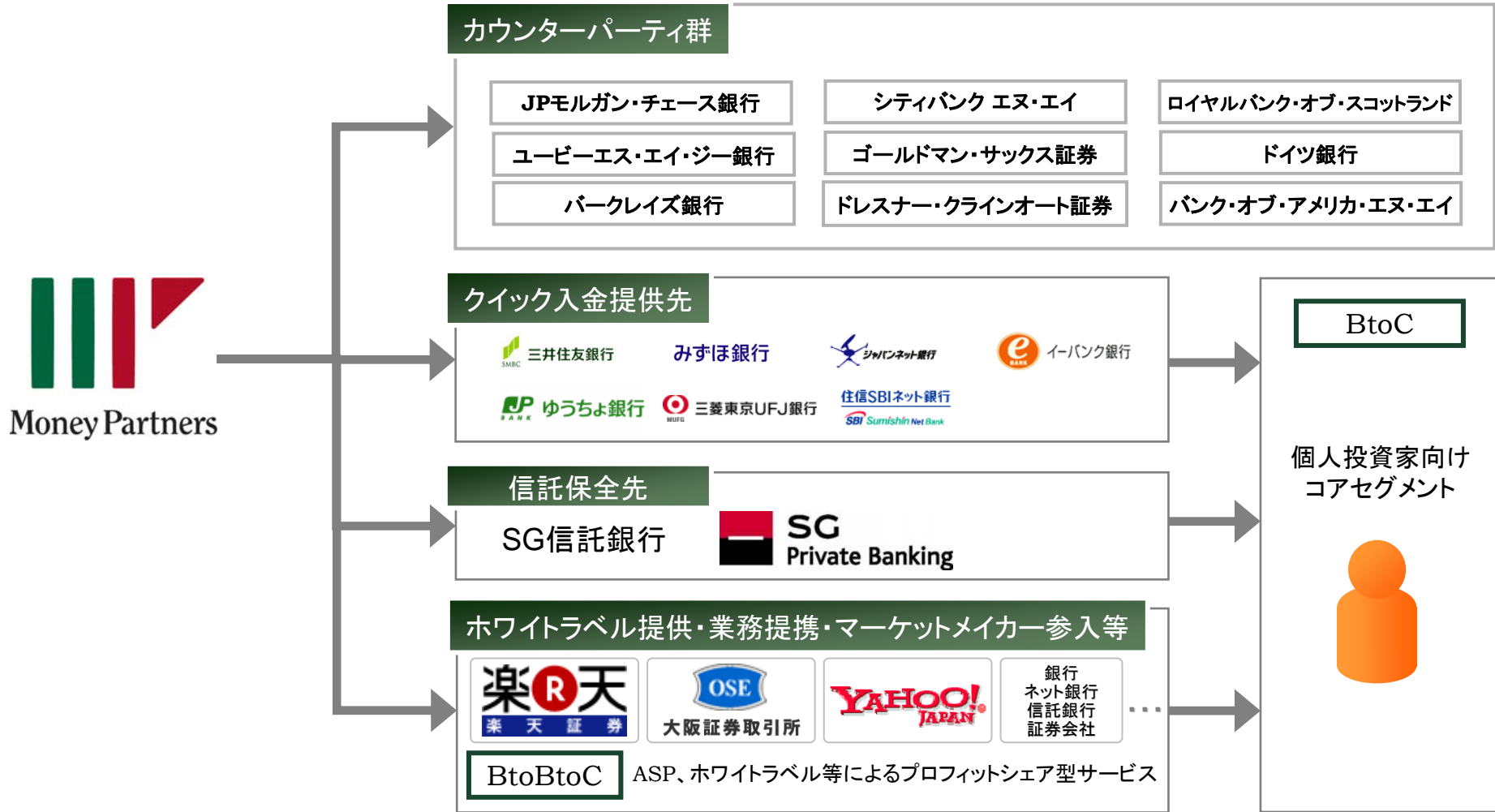
年度内に株式決済のフルネット化を実現し、当社FXサービスの利便性向上を図る



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～ビジネスパートナーの拡大

■ カウンターパーティやBtoBのビジネスパートナーを拡大



コーポレートアライアンスの拡大によりビジネスシナジーを強化



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～ビジネス基盤の強化・拡大

- FXビジネスの縦(新商品開発)及び横(ASP)展開による収益基盤の拡大
- 初心者層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- OTCの特性を活かした新ビジネスの展開



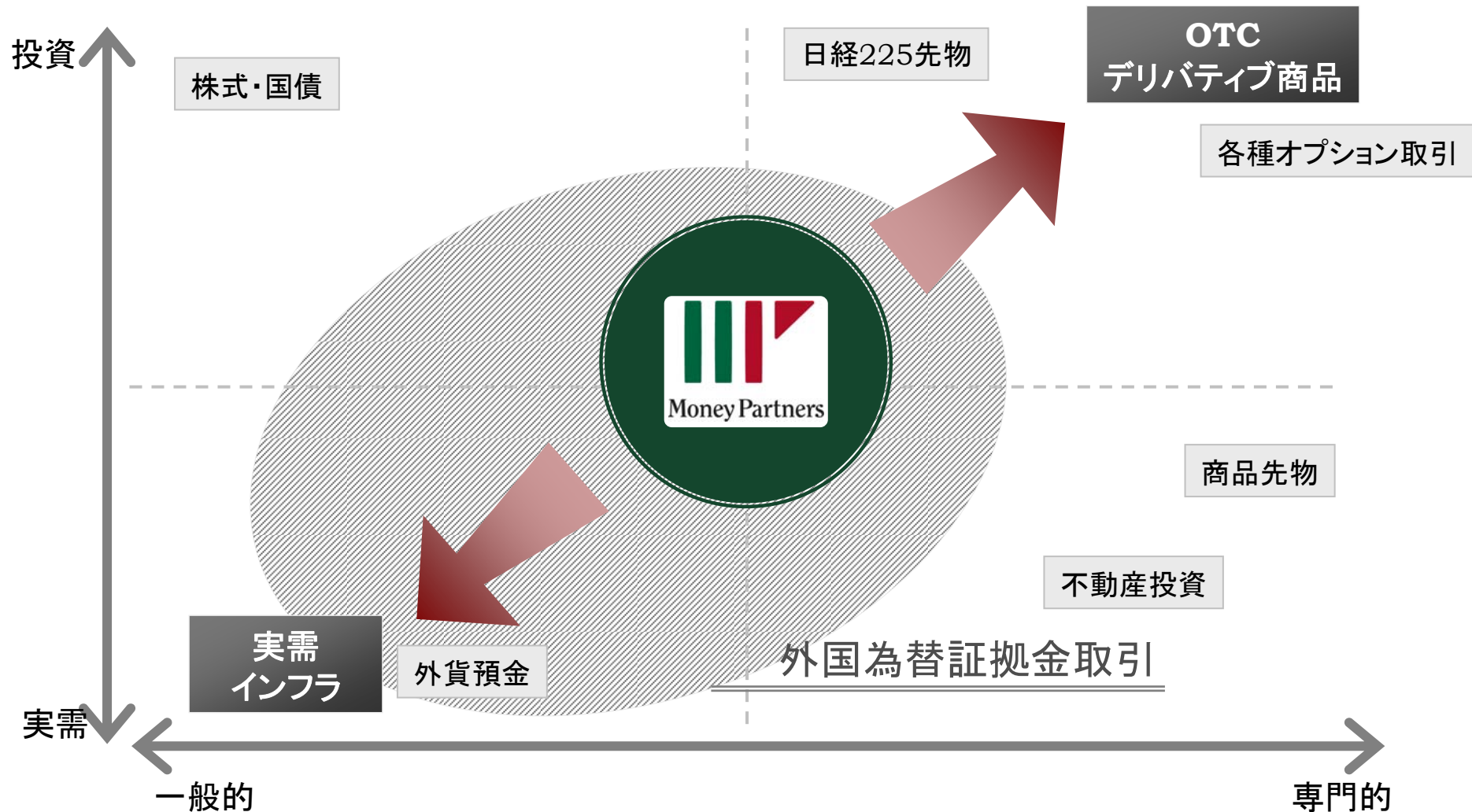
顧客基盤と収益力をさらに強化し、ビジネスの拡大を図る



Money Partners Group

中長期的な経営戦略～目指すべきポジション

- 外国為替における実需インフラを目指す
- 新たなOTCデリバティブ商品の模索による収益源の創出を目指す



V. 当社の経営目標及び株主還元について



高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ 2010年3月期第1四半期(2009年4月～2009年6月)のROEは17.5%

- ・前四半期比では低下したものの、ネット証券各社と比べ高い水準を維持。
- ・営業収益の拡大及び更なる経営の効率化により、高水準のROEの達成を目指す。

※:2010年3月期第1四半期ROEにつきましては、下記計算式により算出しております。
$$ROE = (2010年3月期第1四半期当期純利益 \times 4) \div ((2010年3月期第1四半期期首自己資本 + 第1四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$$

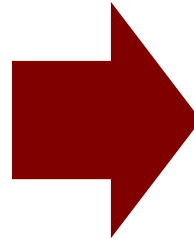
▶ 2010年3月期第1四半期(2009年4月～2009年6月)の営業収益経常利益率は25.4%

- ・営業収益減に伴い、前四半期比で減少となった。
- ・一層の経営努力により、営業収益経常利益率の早期回復を目指す。

利益配分に関する基本方針を変更し、利益還元の充実を決定

旧利益還元方針(2008/3期まで)

配当性向: 連結当期純利益の25%を目処
 配当機会: 期末のみ(年1回)



新利益還元方針(2009/3期以降)

配当性向: 連結当期純利益の30%を目処
 配当機会: 中間および期末(年2回)

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げによる利益還元の強化と、年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図り、株主利益の最大化を目指してまいります。

	2008年 3月期 (変則決算: 3ヶ月)	2009年3月期				2010年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	585	287	663	1,024	826	403			
配当金の総額 (百万円)	146	848							
期末発行済 株式総数(株)	317,760	320,040(内、自己株式5,623)							
1株当たり 配当金	460円	2,700円							

※1 1株当たり配当金を比較可能とするため、2008年1月1日の株式分割(3分割)が2007年12月期期首に行われたと仮定して算出しております。

※2 株式分割前1株当たり配当金=2,851百万円(連結当期純利益)×25%÷105,830株(期末発行済株式数)= 6,700円

株式分割後1株当たり配当金=6,700円÷3= 2,233円 (2008年1月1日に株式分割(3分割)をしており、上記配当実績は株式分割後の1株当たり配当金額になります。)

2010年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

参考資料



当社の概要と沿革について
当社の事業内容、収益構造、通貨ペアと売買高比率について
当社の強みと特徴について



Money Partners Group

グループ概要(平成21年3月31日現在)

- 商号 株式会社マネーパートナーズグループ
- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億68百万円 (2009年3月31日現在)

- 主な事業内容 持株会社

■ 関連会社

株式会社マネーパートナーズ

加入協会: 日本証券業協会、社団法人金融先物取引業協会

登録番号: 関東財務局長(金商)第2028号

事業内容: 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引、有価証券関連業務及びこれに付随する一切の業務

2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務

3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

株式会社マネーパートナーズソリューションズ

事業内容: 1. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するコンピュータシステムの設計、開発、販売、賃貸および保守

2. 外国為替証拠金取引をはじめとする金融商品取引に関するマーケティング、企画、調査、研究およびコンサルティング



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

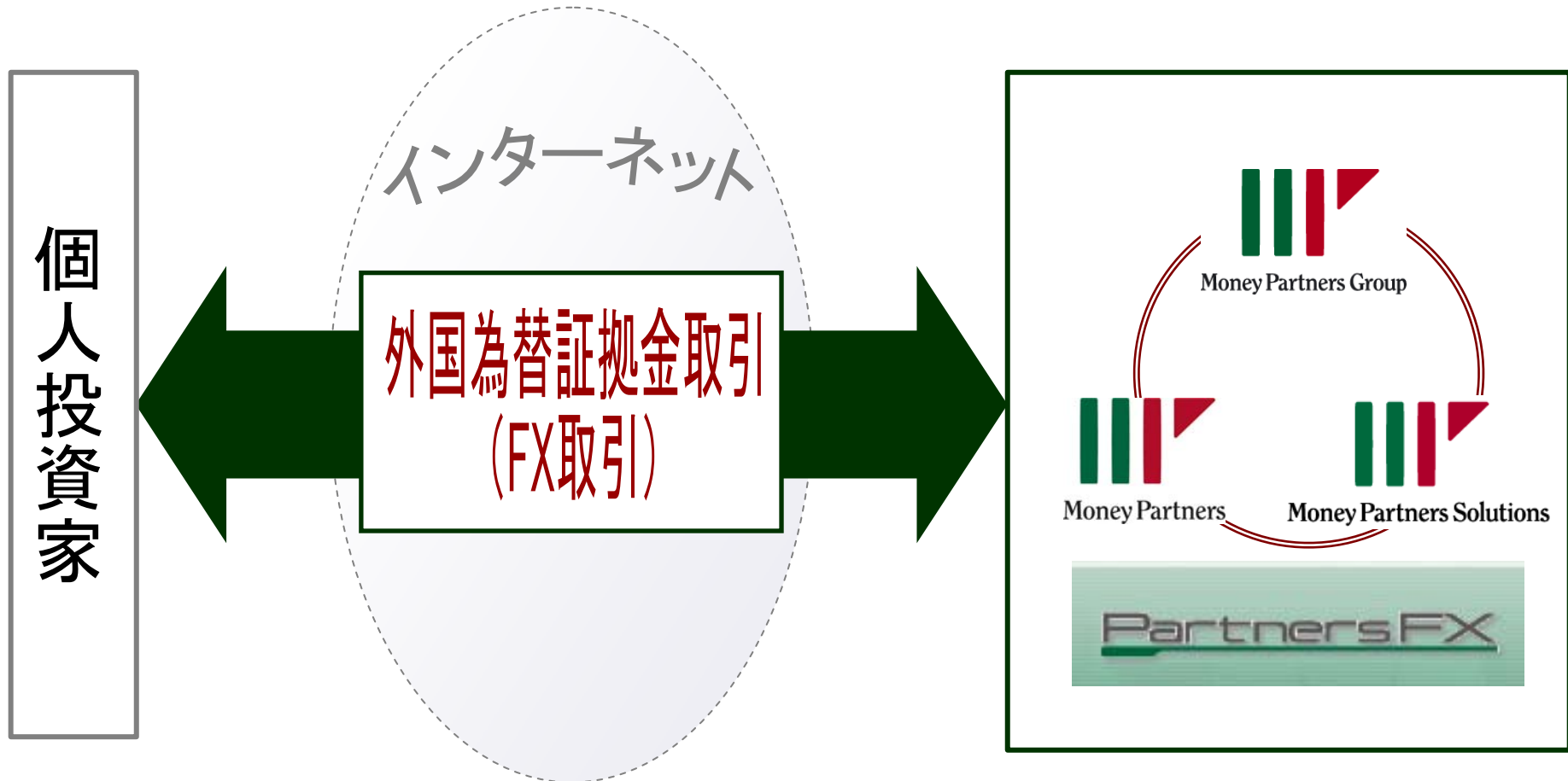


年月		事項
平成17年6月	新設分割	□ 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	□ インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	□ 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	□ 金融先物取引業登録(登録番号:関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 □ 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	□ エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ25倍→50倍	□ インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	□ 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社設立	□ システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	□ レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 □ モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	□ CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 □ 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシーマーク取得	□ 「プライバシーマーク」認定取得
平成19年6月	上場	□ 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード:8732)
平成19年9月	第一種金融商品取引業登録	□ 金融商品取引法施行に伴い第一種金融商品取引業者として登録
平成20年3月	金融商品取引業の変更登録完了	□ 有価証券の取扱い業務開始
平成20年4月	格付取得	□ 株式会社日本格付研究所(JCR)より新規に格付を取得(短期優先債務:J-3)
平成20年6月	提示レート・小数点以下 3ケタ対応開始	□ 全ての対円通貨ペアの提示レート・小数点以下3ケタ対応開始
平成20年10月	持株会社化	□ 株式会社マネーパートナーズグループに商号変更 □ 吸収分割により、全事業をマネーパートナーズ分割準備株式会社(10月1日付で株式会社マネーパートナーズに商号変更)に承継し持株会社体制へ移行
平成21年6月	10万口座達成・DSソフト発売	□ 顧客口座数10万口座達成 □ ニンテンドーDSソフト FXシミュレーションゲーム『マネパ1000万人のFXトレーニング』を発売
平成21年7月	テレビCM開始・大証FX参加	□ ブランド認知度向上を目的として、マネーパートナーズとして初のテレビCMを展開 □ 「大証FX」へマーケットメイカーとして参加

【外国為替証拠金取引に関わる法改正や規制強化と、業界およびマーケットの動き】

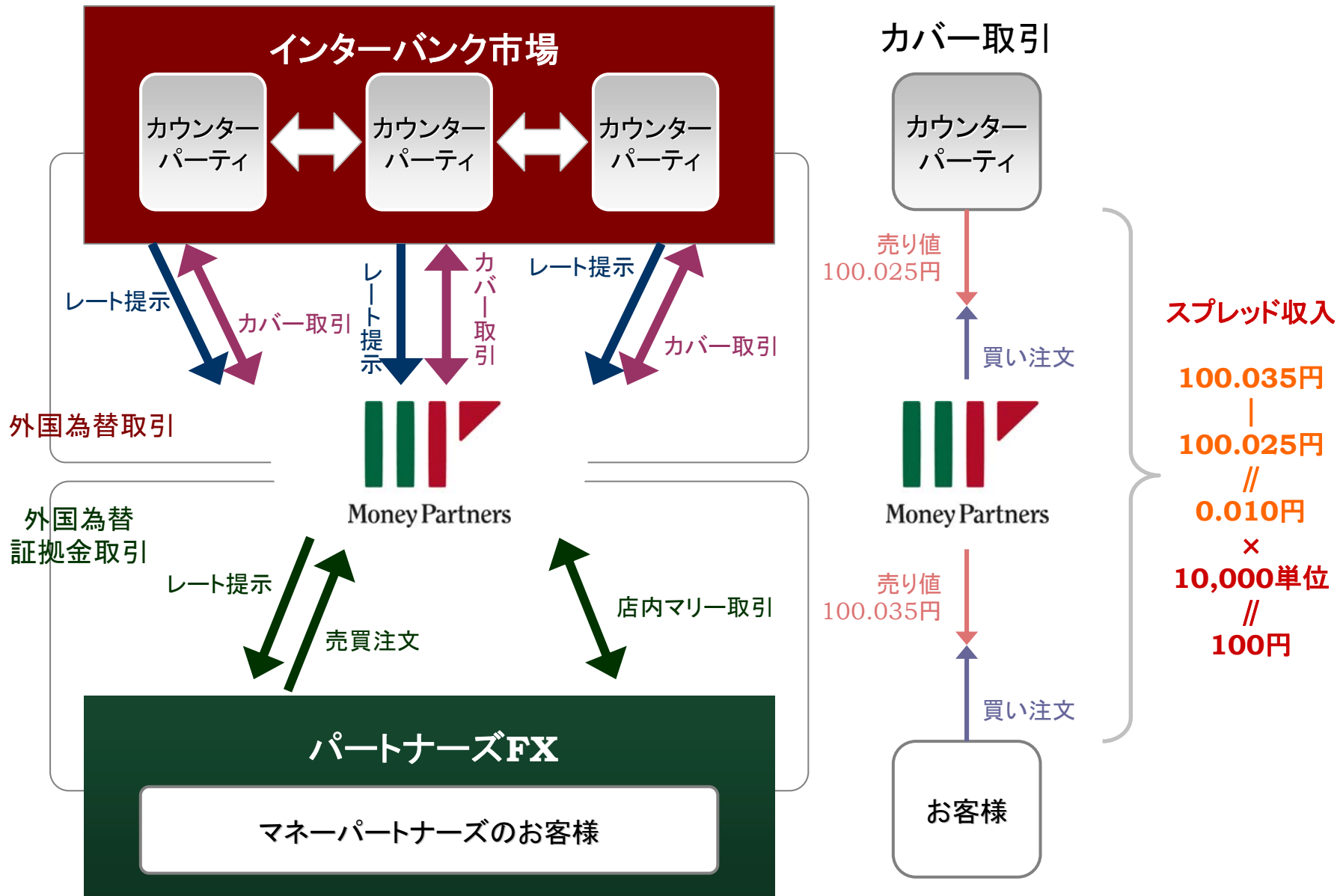
1998年外為法改正	▶	為替取引の完全自由化 マーケットオリエンテッドな取引商品として個人投資家の取引が活発化
2005年改正金先法施行	▶	乱立していたFX業者が一気に淘汰（600社→100社強へ）
2007年9月金商法施行	▶	FX業者が証券会社と同種扱いの金融庁管轄になり、透明性や内部管理体制の更なる厳格化が進展
2009年8月改正内閣府令施行	▶	預り証拠金の区分管理方法を金銭信託に一本化 FX取引に係るロスカットルール整備・遵守の義務化
2010年8月改正内閣府令施行	▶	証拠金規制が導入され、高レバレッジに対する規制が強化

激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
マネーパートナーズはFX専業・ネット専業大手企業としてのポジションを獲得



当社グループは、業界最高レベルの商品性を誇る個人向けFXのご提供を軸とした事業展開を行っております。
当社グループは、他の金融機関へのホワイトラベル提供(ASPビジネス)も行っております。
当社グループはFXにとどまらず、OTCデリバティブの分野において、新たな事業機会に積極的に取り組んでまいります。

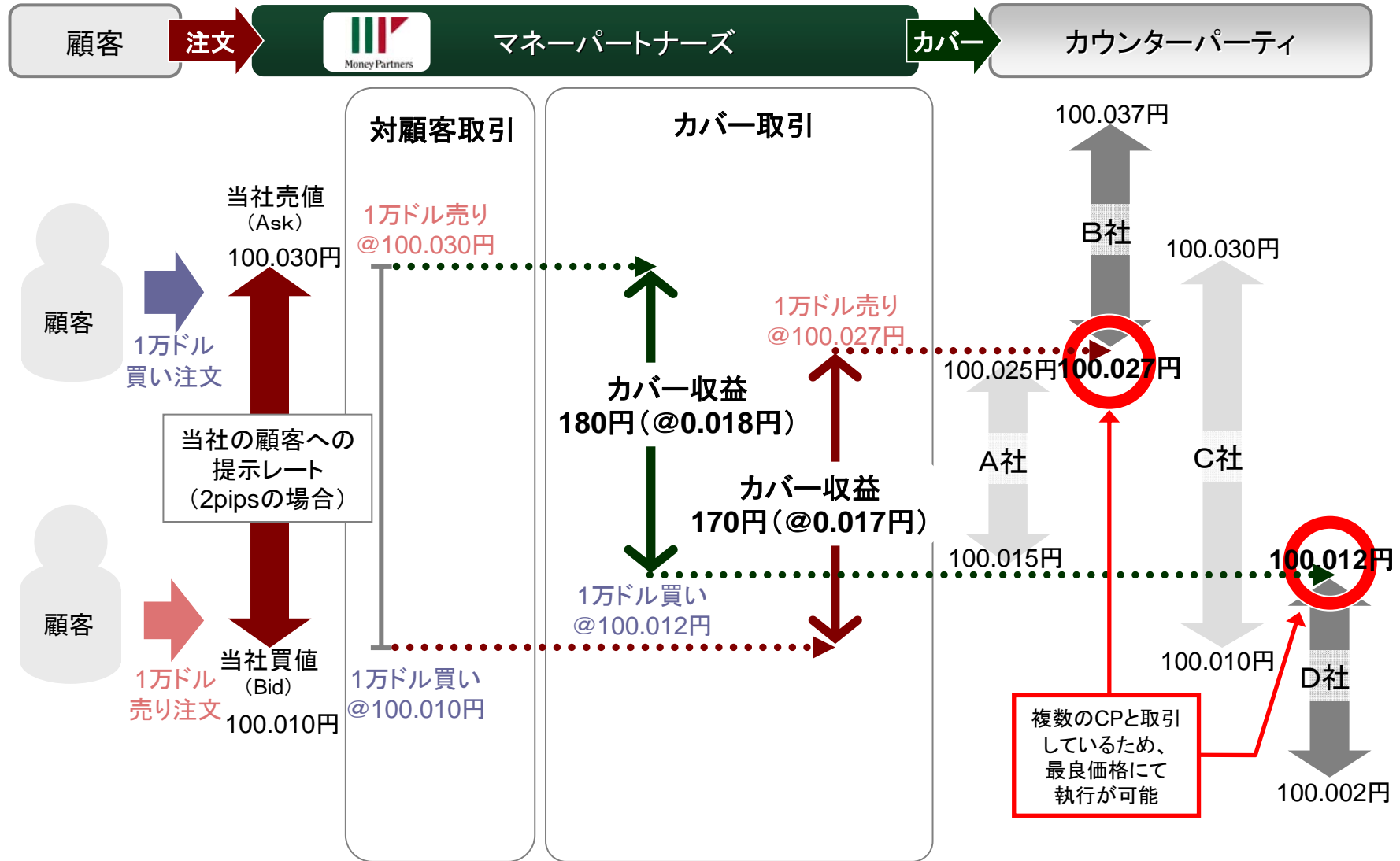
マネーパートナーズの収益構造





Money Partners Group

マネーパートナーズの収益構造





Money Partners Group

マネーパートナーズの取扱い通貨ペアと売買高比率

米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引が可能。さらに投資家のニーズに応える形で『FXnano』を開始し、一部通貨ペアに関しては、約10,000分の1となる100単位での取引を実現。

当社取扱い通貨ペア



USDJPY
米ドル円



AUDJPY
豪ドル円



EURJPY
ユーロ円



NZDJPY
NZドル円



GBPJPY
英ポンド円



ZARJPY
南アランド円



CADJPY
カナダドル円



CHFJPY
スイスフラン円

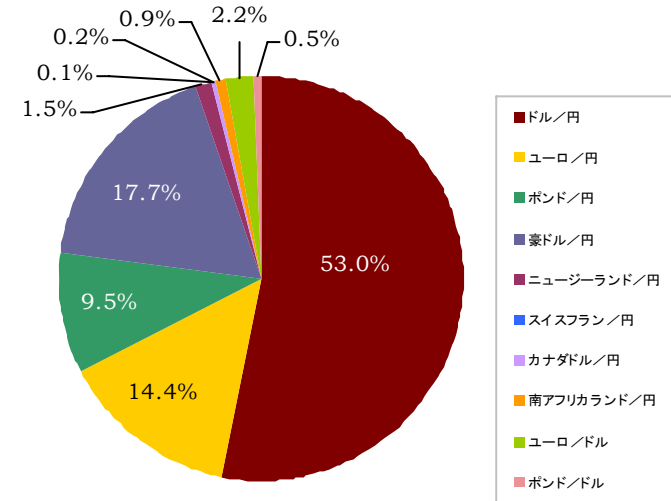


EURUSD
ユーロ米ドル



GBPUSD
英ポンド米ドル

下記グラフは当社の2009年4月-6月度の取扱い通貨ペア別の売買高比率をあらわしたものです。



今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造
- 業界に先駆けて導入したインターネット取引手数料無料化や、スプレッドのナロー化、顧客ニーズを取り入れた取引システム開発など、ユーザーの満足度を徹底的に追求
- 常に顧客の利便性を追求した施策を打つことにより、顧客数増加→取引量の増加の好循環を実現

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネット取引に注力することによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を行うことで、収益貢献度の高い顧客基盤を実現

3. グループ会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を保有することで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保



Money Partners Group

マネーパートナーズの特徴

- ✓ 顧客の資産管理をサポートする新リスク管理システムの導入
(3重のリスク管理によるリスクを限定した取引)
- ✓ リッチクライアント型トレードシステム「Hyper Speed」利便性
向上のためのバージョンアップ
- ✓ モバイル取引への対応「Hyper Speedモバイル」

※当社取引高に占める割合 ウェブ35%、アプリ45%、モバイル20%

**ユーザビリティを
第一に考えた
システム&ツール開発**



**FX業界における
トップクラスの
システムインフラ**

- ✓ ネット証券水準のデータベースサーバ・アプリケーション
サーバ、Webサーバを保有
- ✓ 第1、第2データセンターにてBCP(事業継続計画)、DR
(ディザスタリカバリ)の要件にも対応

**顧客重視の姿勢から
生み出される
高い商品性**

- ✓ ドル/円をはじめとするスプレッドのナロー化
- ✓ ディーラブルプライス(約定可能価格)でのレート提示
- ✓ 全通貨ペアのスワップスプレッドのナロー化



Money Partners Group

マネーパートナーズのFXサービス

【パートナーズFX・パートナーズFX nano サービス比較表】

	PartnersFX	PartnersFX nano
取引通貨ペア	10	8
最商取引単位	10,000通貨単位	100通貨単位
最低必要証拠金	USD/JPYの場合 スタンダード: 20,000円 ハイレバ: 10,000円 (ZAR/JPYは スタンダード: 10,000円 ハイレバ: 5,000円)	USD/JPYの場合 200円 (ZAR/JPYは100円)
呼値(表示桁数)	0.001円(小数点以下3桁)	0.01円(小数点以下2桁)
通常時スプレッド	USD/JPY : 2~ CAD/JPY : 8~ EUR/JPY : 4~ GBP/JPY : 8~ AUD/JPY : 3~ CHF/JPY : 8~ NZD/JPY : 8~ ZAR/JPY : 3.8~ EUR/USD : 4~ GBP/USD : 7~	USD/JPY : 6~ CAD/JPY : 10~ EUR/JPY : 6~ GBP/JPY : 10~ AUD/JPY : 8~ CHF/JPY : 10~ NZD/JPY : 10~ ZAR/JPY : 8~
手数料	0円	0円
取引期限	定めない (無期限ロールオーバー)	1営業日内 (NYクローズ時に終値にて自動反対売買[引成決済])
スワップ	通常ロールオーバー毎に発生	発生しない
注文方法	ストリーミング、指値、IfDOne etc... ※ASは希望者のみ	ASストリーミングのみ
取引ツール	WEBおよびWEBモバイル ハイパースピードおよびハイスピモバイル	WEB XFX



取扱い商品に係るリスクおよび手数料等について

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から4万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

パートナーズFXnanoは、取引通貨の価格の変動により、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引はインターネットを通じてのみ可能で、取引手数料は新規・決済共に無料です。取引に必要な証拠金は100通貨単位あたり100円から400円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、約定代金の1.05%の手数料(最低手数料は525円、消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)

〈登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 社団法人金融先物取引業協会

2010年3月期第1四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ

2009年8月13日